

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

— 2023 G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合の経験を踏まえて —



G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合



北海道・札幌市

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

- 北海道・札幌市では、官民一体となって「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」（令和5年4月開催）に係る地元からの支援事業や地元関連事業に取り組みました。
- この結果、G7や招待国等から高い評価をいただくとともに、多くの道民・市民に、会合のテーマである環境問題に高い関心を持っていただくなど、会合成功への一翼を担うことができました。
- こうした実績を踏まえ、今後も北海道・札幌市における国際会議等の積極的な誘致を進めていきます。

会合成功

■ 地元の役割

【視点】安全・安心／会合参加者・プレスの満足度／地元の盛り上がり／会合テーマへの地元の理解や取組 etc.

● 会合開催への地元からの支援事業

(1) 受入環境づくり…P3

- ・地元警察・消防等との連携
- ・医療体制の構築
- ・地元からのリエゾン・応援職員派遣

etc.

(2) 各国閣僚等へのおもてなし…P4

- ・エクスカージョンの実施
- ・ウェルカムギフト・閣僚等へのお土産

(3) プレスへのおもてなし…P5

- ・食事や地元銘菓等の提供

etc.



エクスカージョン



ウェルカムギフト



地元銘菓

● 地元関連事業の取組ポイント

(1) 道民・市民に向けた事前の機運醸成…P6

- ・会議テーマに関連するシンポジウムなどを開催



シンポジウム

(2) 会議テーマに関連したイベントの開催…P8

- ・会議の主要テーマに関連する参加型イベントの実施



テーマ関連のイベント

(3) 地元自治体としての考え方の宣言…P10

- ・会議テーマに関連して地元自治体としてどのような考え方をもち、戦略的に取り組んでいくかというスタンスの打ち出し

(4) 地域の知性を示すメッセージの発信…P11

- ・会議テーマがどのような意義をもつのかメッセージを発信



地元主催歓迎レセプション

(5) 来道者へのホスピタリティの発揮…P12

- ・開催地としての印象やブランド力を向上させるためのホスピタリティを発揮する機会や仕掛け

(6) 会議開催のレガシー効果の可視化…P16

- ・地元でどのような効果や意義があったのかを分かりやすく示すものをハード・ソフト問わずに可視化



歓迎装飾

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

1. 会合開催への地元からの支援事業

(1) 受入環境づくり

- 地元警察・消防等との連携
- 医療体制の構築
(会合会場への看護師派遣
・ 緊急受入病院指定等)
- 地元からのリエゾン・応援職員の派遣
- 輸送ルートとなる道路維持管理依頼 など



大臣会合会場周辺の警備



大臣会合会場で待機する消防車両

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(2) 各国閣僚等へのおもてなし

- エクスカーションの実施
- ウェルカムギフト・閣僚等へのお土産の配布
- 会合コーヒーブレイクでの地元銘菓の提供



(モエレ沼公園 ガラスのピラミッド見学)



(ウポポイ 国立アイヌ民族博物館見学)

エクスカーション



ウェルカムギフト



会合コーヒーブレイク会場

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(3) プレスへのおもてなし

- 報道関係者向け食事の提供
- 地元銘菓等の提供
- ウォーターサーバーの設置 (環境への配慮)

報道関係者向け食事提供 (Sapporo Lounge)



(カレー(6種)・ラーメン(5種)の提供)

(北海道産スープ・チーズ・缶詰等の提供)



(職人による握り寿司の提供)



(道内日本酒(国稀酒造等5種)・ワイン(北海道ワイン2種)・ブランデーの提供)



(Lounge内の様子)

メディアセンター内地元PRコーナー



(北海道内24社から提供を受けた40種類のお菓子等)



(ウォーターサーバー設置)

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

2. 地元関連事業の取組ポイント

(1) 道民・市民に向けた事前の機運醸成

会議テーマに関連するシンポジウムなどを事前に開催

2023 G7札幌大臣会合での取組

○ G7ゼロカーボンミーティングin層雲峡

日程：令和5年2月12日（日）

会場：層雲閣MOUNTAIN RESORT1923

基調講演：小泉進次郎 元環境大臣

○ G7ゼロカーボンミーティングin洞爺湖

日程：令和5年2月25日（土）

会場：洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス

基調講演：丸川珠代 元環境大臣

G7ゼロカーボンミーティングin層雲峡



(小泉進次郎元環境大臣による講演)

G7ゼロカーボンミーティングin洞爺湖



(丸川珠代元環境大臣による講演)

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

G7ゼロカーボンミーティングin層雲峡



(鈴木知事あいさつ)



(パネルディスカッション)

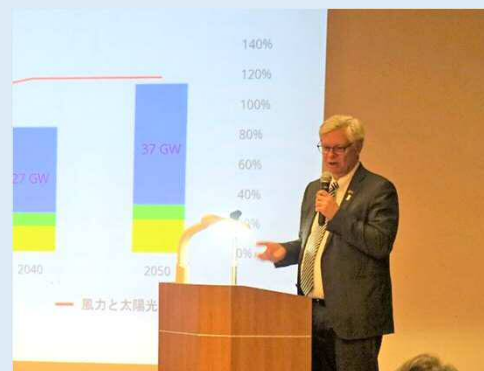
G7ゼロカーボンミーティングin洞爺湖



(秋元市長あいさつ)



(会場の様子)



(特別講演 イェンセン デンマーク大使)



(会場の様子)

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(2) 会議テーマに関連したイベントの開催

会議の主要テーマに関連する参加型のイベントの実施

2023 G7札幌大臣会合での取組

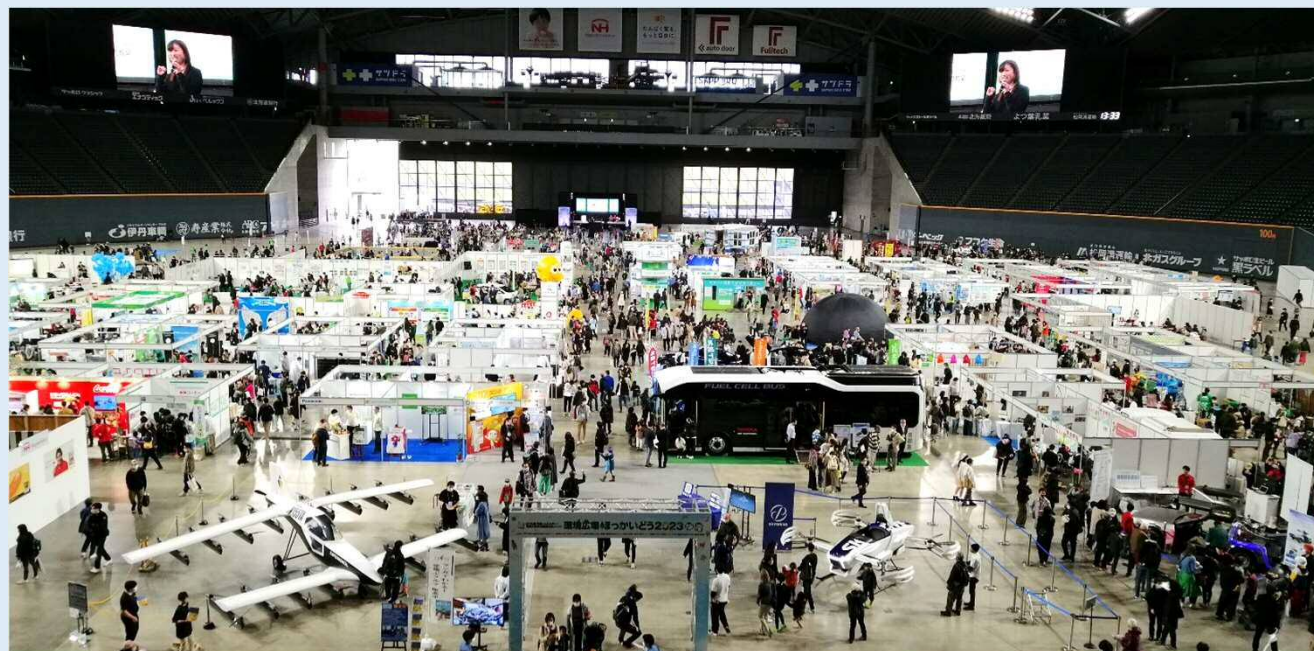
○ 環境広場ほっかいどう2023

日程：令和5年4月15日（土）
～4月16日（日）

※大臣会合4/15-16と同日開催

会場：札幌ドーム

内容：
・若者サステナブル共創プロジェクト
・空飛ぶ車、FCバスなど最新の環境技術の紹介
・「文明の墓場」など、160以上の企業・団体によるブース出展 etc.



会場全体の様子

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市



オープニングセレモニー



空飛ぶクルマ (株SkyDrive)



森崎博之さんのスペシャルトークステージ



文明の墓場



燃料電池バス (トヨタ自動車株)



若者サステナブル共創プロジェクト

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(3) 地元自治体としての考え方の宣言

会議テーマに関連して地元自治体としてどのような考え方をもち、戦略的に取り組んでいくかというスタンスを宣言として打ち出す

2023 G7札幌大臣会合での取組

○「北海道・札幌宣言」の発表

【発表の場】

- ・環境広場ほっかいどう2023
令和5年4月15日（土）
10時～10時45分
- ・主催：北海道・札幌市
- ・出席者：知事、市長、
経産省・環境省副大臣、
各国大使館等（デンマーク、EU、
アメリカ、ドイツ、イギリス、イタリア、カタール）



脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言 ～脱炭素エネルギー基地を目指して～

世界で産業・社会をクリーンエネルギー中心にする「グリーン転換（GX）」が進められています。

こうした中、北海道では、国内唯一の再生可能エネルギーのポテンシャル等を活かした「ゼロカーボン北海道」の取組を、札幌市は、日本の「脱炭素先行地域」として「環境首都・札幌」づくりを進めています。

これらの取組により、北海道全体が環境と経済・社会が好循環する持続可能で活力ある地域となるとともに、脱炭素エネルギー基地として、日本や世界のGXにも貢献することは、北海道の価値と魅力を一層高めるものです。

こうした考えから、G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合の開催にあたり、北海道及び札幌市は、今後、日本政府とも一層緊密に連携しながら、脱炭素社会の未来を拓くため、次のことを宣言します。

- 一、北海道と札幌市は、国内の地域脱炭素のフロントランナーとして、官民一体となって、省エネの促進はもとより、再生可能エネルギーの最大限の導入と地産地消やこれを生み出す生産・研究拠点の国内外からの誘致を積極的に進め、生活の向上や経済の発展につなげます。
- 一、北海道と札幌市は、本道と本州の大消費地を結ぶ海底直流送電インフラの早期整備を促進し、洋上風力をはじめ本道の豊富な再生可能エネルギーを供給するなど、日本全体の再生可能エネルギーの導入推進に貢献します。
- 一、北海道と札幌市は、再生可能エネルギーを活用する半導体やデータセンターなどの産業の振興、蓄電池や水素・アンモニア、CCUS、合成メタン、合成燃料など新しい脱炭素技術の導入や人材育成などに取り組みます。
- 一、北海道と札幌市は、国内外の企業の参画も得て、世界的な環境金融の資金も呼び込みながら、こうしたGX関連事業を推進します。
- 一、北海道と札幌市は、これらを含む様々な取組によって培う知見と経験を国際社会に発信し、世界のGXに貢献します。

2023年4月15日
北海道知事 鈴木 直道
札幌市長 秋元 克広

「北海道・札幌宣言」

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

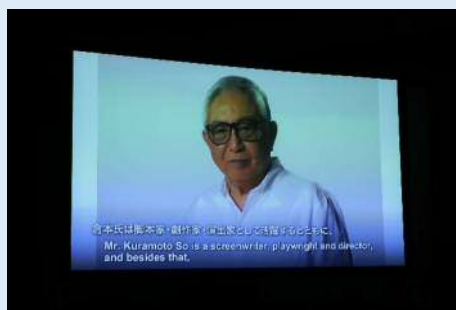
(4) 地域の知性を示すメッセージの発信

会議テーマがどのような意義をもつのかメッセージを発信

2023 G7札幌大臣会合での取組

○ 倉本聰氏からのメッセージ 【概要】

長年にわたり自然と向き合いながら、自然返還事業や環境教育事業に取り組んでいる、地元北海道の知の巨人・倉本聰氏から、G7札幌大臣会合に際して世界に向けた提言をいただき、各国及び道民・市民に効果的に発信。



地元主催レジョンでの映像放映



札幌駅前地下歩行空間でのパネル掲示



倉本聰氏からのメッセージ

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(5) 来道者へのホスピタリティの発揮

開催地としての印象やブランド力を向上させるためのホスピタリティを発揮する機会や仕掛け

2023 G7札幌大臣会合での取組

○ 各種おもてなし・地元PRの実施

① 地元主催歓迎レセプション

日程：令和5年4月14日（金）

会場：京王プラザホテル札幌

- ・道産食材、道産酒・ワインの提供
- ・倉本聡氏のメッセージ動画放映
- ・地元高校生などによる書道・演奏パフォーマンス
- ・G7オリジナルカクテルの作製・提供



地元主催歓迎レセプションの様子（会場全体）

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

地元主催歓迎レセプションの様子



(歓談の様子)



(秋元市長からイタリア大臣への記念品贈呈)



(鈴木知事と各国大臣等)



(倉本聡氏からのメッセージ動画放映)



(日本ホテルパーメンズ協会野田氏によるオリジナルカクテル作製)



(書道・演奏パフォーマンス)

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

2023 G7札幌大臣会合での取組

②プレスツアー

日程：令和5年3月16日（木）

～3月17日（金）

場所：ウポポイなど（1泊2日）

プレスツアーの様子



（石狩市 バイオマス発電所と風力発電所）



（ウポポイ ポロチセ）

プレス向け魅力発信（展示・お菓子）

③プレス向け魅力発信

展示イベント、食によるおもてなし

日程：令和5年4月14日（金）

～4月16日（日）

場所：中央区民センター内（メディアセンター）



（「観光」「アイヌ文化」「気候・エネルギー・環境」に関する展示）



（北海道内24社から提供を受けた40種類のお菓子等）

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

2023 G7札幌大臣会合での取組

④シティドレッシング

- ・ カウントダウンモニュメントの設置
- ・ 横断幕、懸垂幕、フラッグ等の設置
- ・ 歓迎装飾・シートの設置



札幌駅前地下歩行空間に設置したカウントダウンモニュメント



新千歳空港の懸垂幕



札幌駅前通地下街出入口の歓迎装飾



札幌駅前通地下歩行空間の歓迎装飾

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(6) 会議開催のレガシー効果の可視化

地元にもどのような効果や意義があったのかを分かりやすく示すものをハード・ソフトを問わずに可視化

2023 G7札幌大臣会合での取組

○GX投資に関するアジア・世界の金融センターの実現

【概要】

- ・ G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合の開催に係るレガシーとして、世界中からGXに関する情報・人材・資金が北海道・札幌に集積する、アジア・世界の「金融センター」の実現に向け、北海道が有する国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用する。
- ・ 令和5年6月に産学官金のコンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」を設立、構成員である札幌市・北海道、金融庁・経済産業省・環境省などの関係省庁のほか、金融機関、大学、道内経済界、エネルギー関連事業者等が一体となって取組を推進。
- ・ コンソーシアムでは、GX金融情報等の集約・共有手法の構築、環境投資を加速させる規制緩和等の検討、環境金融人材の育成などを通じて、今後10年間で最大40兆円のGXの官民投資を北海道・札幌に呼び込んでいく。



「Team Sapporo-Hokkaido」
設立共同記者会見の様子



「Team Sapporo-Hokkaido」
設立記念シンポジウム

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

3. 国際会議等開催の受入環境と開催実績

(1) 札幌の主な会議開催エリア



【北海道大学】

- ・学術交流会館（ホール310席、196席ほか）
- ・クラーク会館（ホール510席ほか）

【大通公園エリア】

- ・市民交流プラザ（ホール2,300席ほか）
- ・札幌市民ホール（ホール1,500席ほか）
- ・札幌市教育文化会館（1,100席ほか）
- ・札幌プリンスホテル（大宴会場1,000㎡ほか）
- ・ロイトン札幌（ホール1,607㎡ほか）

【札幌コンベンションセンター】

- 大ホール2,607㎡、特別会議場692㎡、
- 中ホール564㎡、小ホール193席 ほか

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

■ 札幌コンベンションセンター

- 敷地面積 41,019m²
- 延床面積 20,310m²
- 構造 地下1階・地上3階（RC造、一部SRC・S造）
- 供用開始 平成15年6月
- 指定管理 SORA-SCC共同事業体（株）コンベンションリンクージ、（株）東洋実業



コンベンション施設の機能強化

ハイブリッド会議への対応と感染症対策の視点から札幌コンベンションセンターの機能強化を実施

- サーマルカメラ、各室前に消毒液を設置
- 独自のガイドラインの策定
- ハイブリッド会議への対応のため、インターネット回線の強化
- 映像配信の需要を見据え、プロジェクターのアップグレード
- 国際衛生供給協会(ISSA)が定める国際衛生基準「GBAC STAR認証」を取得



北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(2) 札幌の主な宿泊施設

札幌市内のホテル

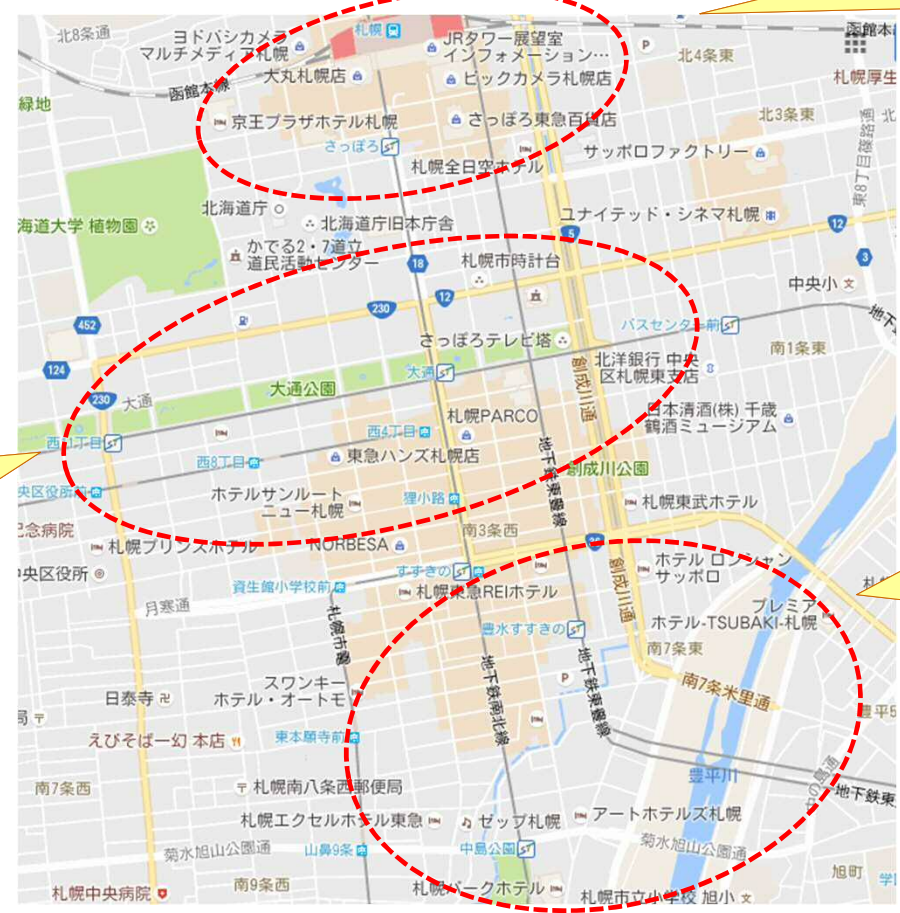
- ホテル数 257軒
- 客室数 30,696室
- 定員数 61,064人

【大通公園エリア】

- ・札幌プリンスホテル (587室)
- ・ロイトン札幌 (291室)
- ・札幌ビューホテル大通公園 (331室)
- ・札幌グランドホテル (449室) など



札幌プリンスホテル ▲



【札幌駅エリア】

- ・JRタワーホテル日航札幌 (342室)
- ・京王プラザホテル札幌 (493室)
- ・ANAクラウンプラザホテル札幌 (412室)
- ・セチュールロイヤルホテル (300室) など



▲ 京王プラザホテル札幌

【すすきの・中島公園エリア】

- ・札幌パークホテル (216室)
- ・プレミアホテル・TSUBAKI・札幌 (322室)
- ・ホテルマイステイズプレミア札幌パーク (216室)
- ・プレミアホテル中島公園札幌 (225室) など



▲ 札幌パークホテル

北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(3) その他地域のMICE施設

■ ニセコHANAZONOリゾート

- 倶知安町字岩尾別(新千歳空港から車で150分)
- 主要会議施設
パーク ハイアット ニセコ HANAZONO
 - ・HANAZONO : スクール20人、シアター30人
 - ・カバノキロッジ : スクール60人、シアター96人
 - ・チャペル : スクール24人、シアター56人
- 開催実績 : 【2019年、G 2 0 観光大臣会合】

コンベンション施設としての特徴

- 広大なイベントビレッジに3つのイベントスペース、屋内・屋外のレセプションエリア、ショーキッチン、独立したワインセラー
- ニセコの大自然の中で、プライバシーを確保したいオフサイトミーティングにも最適



■ ザ・ウィンザーホテル洞爺

- 洞爺湖町清水336(新千歳空港から車で120分)
- 主要会議施設
・ウィンザーホール : スクール364人、シアター858人
- 開催実績 : 【2008年、北海道洞爺湖サミット】
【2013年、第8回日中韓賢人会議】

コンベンション施設としての特徴

- 洞爺湖畔の山上に建ち、東に洞爺湖、西に太平洋を見下ろすリゾートホテル
- カンファレンス、ビジネスミーティング、セミナー、展示会まで様々な用途に利用可能な7つの会場



北海道・札幌における国際会議開催のご提案

北海道・札幌市

(4) 政府系国際会議の主な開催実績

※人数のうちカッコ内は海外参加者数



2023年4月 G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合 約650人 (約270人) 【会場：札幌プリンスホテル】

開催年月	会議名	参加者数
2008年7月	G8北海道洞爺湖サミット	2,000人 (-)
2010年6月	日本APEC貿易担当大臣会合及び関連会合	2,500人 (2,200人)
2012年6月	第27回アジア消防庁協会総会	528人 (71人)
2013年7月	国際電気通信連合 無線通信部門 SG5 WP5D第16回会合	185人 (155人)
2013年11月	第13回日中韓特許庁長官会合	225人 (25人)
2013年11月	第4回日インドネシア交通次官級会合	70人 (40人)
2014年2月	国際電気通信連合電気通信標準化部門 第16研究委員会 (ITU-T・SG16会合)	232人 (146人)
2015年9月	第7回日・ASEAN諸国防衛担当局次官級会合	50人 (47人)
2018年1月	第3回日・ASEAN航空協定交渉会合	34人 (25人)
2019年10月	G20観光大臣会合 (倶知安町)	210人 (-)
2019年12月	第7回中小企業協力に関する日露会合	103人 (22人)

▼ 2023 G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合



▼ 2010 日本APEC貿易担当大臣会合

